

2012年度「津田梅子賞」実施要綱

1. 賞創立の趣旨

1900年、津田梅子は女子英学塾(現 津田塾大学)を創立し、高い専門性と広い教養を身に付けたオールラウンドな女性の育成を目指し、女性の力量を男性と対等に協同しうるまで向上させることに尽くしました。明治日本の保守的な壁を目の前にしながらも、勇気・情熱・志をもって、私塾の創設、経営という先駆的な企図に挑戦し、その後の女性の社会参画に大きく貢献しました。

それから1世紀余りが経ち、さまざまな分野で女性が活躍する時代になりました。同時に、現代には津田梅子が生きた時代とは異なる困難が、グローバルに、そしてローカルに顕われています。この複雑化する現代社会において、津田梅子であれば何に取り組み、そして何に挑戦しているのでしょうか。

2010年、津田塾大学では創立110周年を記念し、「津田梅子賞」を創設しました。本賞は、津田梅子のパイオニア精神にちなみ、女性の未来を拓く可能性への挑戦を顕彰することを目的とします。

2. 選考対象

以下の1. または2. に該当する個人／団体で、現代社会に顕著な影響を与えた方

1. 女性の可能性を広げる取り組みを行う個人または団体・組織（性別を問いません）
2. さまざまな分野で先駆的な活動を展開した女性

3. 副賞

1名または1団体につき賞金30万円

4. 応募方法

所定の推薦書に、候補者(個人／団体)と推薦対象となる取り組みの詳細を記入して、「9.推薦書類提出先」まで1部を郵送してください。推薦書は津田塾大学のウェブサイトよりダウンロードいただけます。また、活動に関する参考資料などがありましたら、説明書きを添付して同封してください。なお、応募は他薦に限ります。

5. 応募受付期間

2012年4月10日(火)～2012年7月10日(火) (必着)

6. 発表および贈賞式

2012年10月7日(日) 津田梅子賞贈賞式

7. 選考方法

津田梅子賞選考委員会の選考を経て決定します。選考結果は推薦者に郵送でお知らせいたします。

※「津田梅子賞選考委員会」選考委員 (50音順)

有馬 真喜子	UN Women (国連女性機関) 日本国内委員会理事、フジテレビ番組審議会委員長
飯野 正子	津田塾大学学長
鹿嶋 敬	実践女子大学人間社会学部教授、内閣府男女共同参画会議議員
金城 清子	元龍谷大学法科大学院教授
高橋 裕子	津田塾大学津田梅子資料室室長
山口 順子	津田塾大学学長補佐

8. その他

- ・入賞者のお名前、年齢、団体名および活動内容等をウェブサイト、大学広報誌、報道等で公表させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・提出いただいた推薦書類は、2012年度津田梅子賞選考のためにのみ選考委員会などで使用します。提出いただいた書類は返却いたしません。

9. 推薦書類提出・お問い合わせ先

〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

津田塾大学企画広報課内 「津田梅子賞」事務局

Tel. 042-342-5113 Fax 042-342-5121 E-mail:kouhou@tsuda.ac.jp

津田塾大学公式ウェブサイト: <http://www.tsuda.ac.jp/>

2012年度「津田梅子賞」受賞候補者推薦書

年 月 日

下記の通り、2012年度「津田梅子賞」の受賞候補者を推薦します。

記

候補者 氏名 (ふりがな)	
住所	〒
電話番号	
ファックス番号	
e-mail	

※ 団体の場合は、団体名およびその取り組みの代表者について記入のこと

推薦者 氏名 (ふりがな)		印
住所	〒	
電話番号		
ファックス番号		
e-mail		

候補者推薦理由

1. 候補者の取り組みや活動の目的

2. 候補者の取り組みや活動の内容・実績

3. 候補者の取り組みや活動が与えた現代社会への影響・成果

※その他活動に関する参考資料などがありましたら、説明書きを添付して当推薦書と同封してください。